



年組名前

道新でワークシート

【新聞記事①】2022年10月21日（金）朝刊 旭川・上川版 15ページ

# 道北のコメ今年は豊作



3年連続で作柄が「良」となった上川産米の稻穂＝9月中旬、比布町

## 上川3年連続、留萌4年連続「良」

農林水産省北海道農政事務所が今月発表した2022年産の水稻の予想収穫量で、上川管内産（宗谷管内産含む）は10万t当たり61.9kgと道内9地域別で最高だった。作柄は3年連続で最高評価の「良」を記録。留萌管内産は57.2kgで道内平均（59.0kg）を下回るもの、4年連続の「良」になった。今年の道北のコメは食味も良く、豊作の見通しだ。（小林史明）

同事務所が9月25日現在で調査した。各地域で平年で分類している。18年に低温と日照不足で上川産、留萌産とともに「不良」（94）

以下）となつて以降、上昇傾向にある。

主産地の上川産の今年の収穫量を100とした作況指数（作柄）は「良」（100以上）、「やや良」（102～105）など5段階に分類している。18年に

実ったもみの数が多くなり、粒も大きく育つた」と分析する。作付面積は2万8400haで、北空知（20ha）を抜いて道

内9地域では最大だった。過去10年間でみると、昨年の上川産は14年と並ぶ15.08を記録したが、高温少

り高く、同事務所は「穂に



## コメ作況「不良」確定へ 道内18年産 収量6万トン減予想

農林水産省が31日発表した2018年産米の10月15日現在の作況指数（平年100）は、北海道が90の「不良」で前回発表（9月15日現在）と変わらなかつた。道内の収穫はほとんど終わっているため今後も数値に大きな変動はない」とみられ、12月に発表する確定値でも89を記録した2009年以来9年ぶりの不作となる見通し。主食用米の予想収穫量も、都道府県別では前年の首位から2位に転落した。

北海道農政事務所によると、上川管内などの主産地で9月以降は好天に恵まれたものの、6、7月の低温と日照不足で穂やもみの数が少なくなった影響が大きかった。粒の小さいコメも例年より若干多いという。地域別では、9月後半の

全国の作況指数は99で「平年並み」だった。全国の主食用米の予想収穫量は、前年実績より2万3千t（0・3%）多い732万9千t。今年から国による生産調整（減反）が廃止されたが、大幅な増産にはならなかつた。

（高橋俊樹）

【新聞記事②】2018年11月1日（木）朝刊 全道版 2ページ（記事は再編集しています）

が少なくなった影響が大きかった。粒の小さいコメも例年より若干多いという。地域別では、9月後半の

全国の作況指数は99で「平年並み」だった。全国の主食用米の予想収穫量は、前年実績より2万3千t（0・3%）多い732万9千t。今年から国による生産調整（減反）が廃止されたが、大幅な増産にはならなかつた。

（高橋俊樹）



谷さんたちは、ある記事をきっかけに地域の産業に興味をもち、調べてみることにしました。きっかけとなった【新聞記事①】と【やりとりの一部】を読んで、との問い合わせに答えなさい。

【やりとりの一部】

谷	上川のコメについて、こんな記事を目にしたよ。
山下	へえ、今年はコメが豊作なんだね。地域の産業が好調なのはうれしいね。
横井	今年だけでなく上川地方は3年連続で作況指数が「( A )」だったみたいだね。この調子で来年も豊作だと良いね。
高田	記事を詳しく読んでみると、味も良さそうだね。でも、( B )質が低い方が食味が良いなんて、初めて知ったな。
木村	それにしても、記事のグラフを見ると、18年の上川管内産が落ち込んでいて気になるな。この年に何があったんだろう。
谷	僕も気になったんで、調べてみたんだ。
	( C )
木村	そうだったんだね。他にも色々と調べてみると、わかることがありますね。

① ( A ) ( B ) に当てはまる言葉をそれぞれ【新聞記事①】から書き抜きなさい。【新聞記事①】参照

(A)

(B)

② 【やりとりの一部】を見て、地域の話題として直接触れられていないものを、次から選びなさい。

- ア 上川地方の作況指數。
- イ 上川の作付面積が道内一であること。
- ウ 今年収穫されたコメの味。
- エ 18年の作況指數が落ち込んでいること。

③ 谷くんは新聞記事②を見せながら、木村さんの疑問に答えました。【やりとりの一部】の ( C ) に当てはまる言葉を、下の条件に従って書きなさい。【新聞記事②】参照

- 条件1 記事の内容を参考にしなさい。
- 条件2 80字以上、100字以内で書きなさい。
- 条件3 話し言葉で書きなさい。